



聴覚に障害のある子どもへの指導・支援

宿泊を伴う学習について(宿泊学習、修学旅行)

日頃から補聴器や人工内耳の管理の練習をお家の方と一緒に練習し、宿泊を伴う学習があっても、慌てないように準備しておきましょう。(電池交換、人工内耳の充電、補聴援助システムの充電、ケースでの保管)

事前

- ・日程を確認し、補聴器や人工内耳を外す場面(お風呂、就寝)や、補聴援助システムを使用する場面を確認しておきましょう。
- ・補聴援助システムや人工内耳の充電ができる場所を、確認しておきましょう。

当日

- ・入浴、就寝時には電池を外し、補聴器や人工内耳を外して乾燥剤の入ったケース等で保管しましょう。また、ケースの置き場所の確認もしましょう。
- ・災害が起きた時にすぐに装用できるよう、ケースを枕元の近くに置くために、お部屋の角に寝る方法もあります。きこえないことにより、自力で起床するのが難しいので、起床時間(災害時)に友達に起こしてもらえよう頼んでおきましょう。

人工内耳・ロジャーマイクを使用する一日の流れ

	時間	活動内容	ロジャーマイク	人工内耳
朝				
昼				*汗をかいた場合には、よくふく。
夕方				
入浴				*ぬれた髪をよくふいてからつける。
就寝				*乾燥剤入りのケースにしまう。 *ケースを枕元に置く。
起床・着替え・洗面				*電池を交換する。
昼				



- ・バスの座席は、ガイドや先生の話がきこえるように、前方に座ったり、ガイドの方に、補聴援助システムをお願いしたりして、使用していただくのも良いでしょう。
- ・人工内耳は、静電気に弱く、プログラムが消えてしまう可能性があるため、プラスチックの滑り台をする場合には、人工内耳を外すことになります。
- ・ジェットコースターに乗る場合には、補聴器や人工内耳が外れてしまう可能性がありますので、乗車前に補聴器や人工内耳を外してケースにしまうか、ヘアバンドで止める等、外れないようにする必要があります。
- ・修学旅行で、シュノーケリング等、水を使用したアクティビティをする場合は、補聴器や人工内耳を外すか、人工内耳の場合には防水カバー(アクアプラス)を装用することになります。きこえなくなりますので、危険な時には知らせるサインを決めておくとも良いでしょう。

